

令和2年度の当初予算を紹介します 「未来への躍動予算」

問 財政課 ☎086-803-1146 ㊚086-803-1735

令和2年度当初予算は、「第六次総合計画長期構想」に基づく都市づくりの方向性を示す「前期中期計画」の最終年度の予算です。

引き続き、健全財政を堅持しながら、**〇街を楽しむ** **〇子育て・教育** **〇Positive Health Okayama** **〇災害に強いまちづくり**の各分野、さらには、**〇産業、地域の振興** **〇SDGsの推進**などの重点施策に全力で取り組むことで、都市の躍動感を創出し、住みやすさに一層の磨きをかけ、愛着と誇りの持てるまちづくりを市民とともに進めるべく、これまで築いてきた成果を礎とし、未来に向けて更なる高みへ飛躍するための予算として編成しています。

令和2年度当初予算の概要

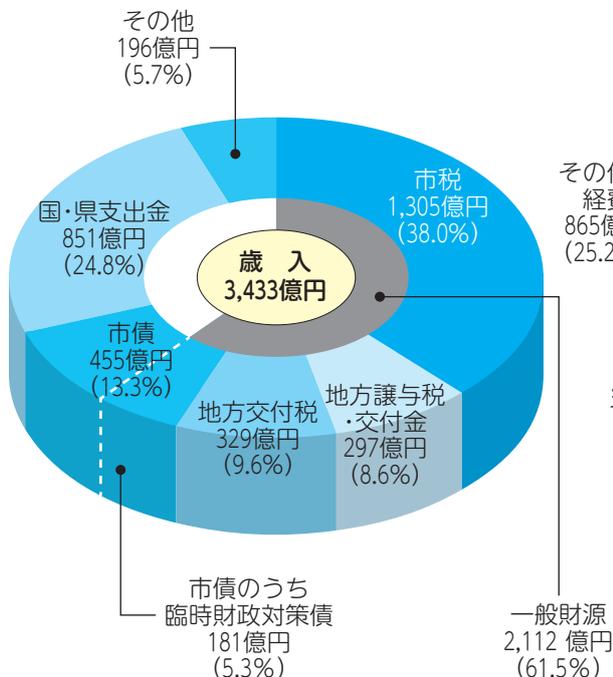
一般会計は前年度と比べて122億円増の3,433億円と過去最高となっています。また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせると6,034億円で、前年度と比べて2.3%増加しています。

当初予算 前年度との比較

区分	令和元年度	令和2年度	対前年度比
一般会計	3,311億円	3,433億円	3.7%増
特別会計	1,833億円	1,847億円	0.8%増
事業会計	757億円	754億円	0.3%減
合計	5,901億円	6,034億円	2.3%増

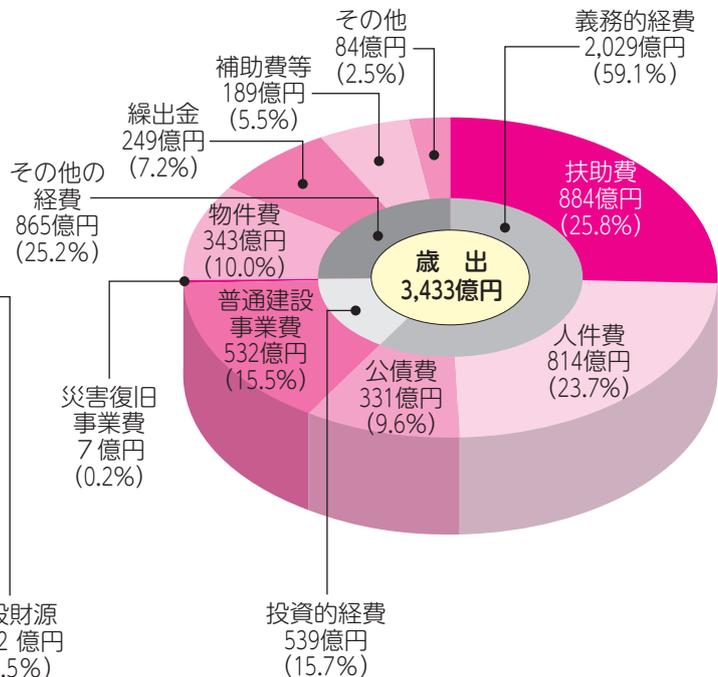
一般会計の内訳【()内は構成比】

歳入



- ◆市税は、個人所得の伸びに伴う個人市民税増加など一方で、新税率適用による法人市民税の減少などにより、対前年度比で4億円減少しています。
- ◆地方譲与税・交付金は、消費税率改定に伴う地方消費税交付金の増加などにより、36億円増加しています。
- ◆市債（臨時財政対策債を除く）は、岡山芸術創造劇場（仮称）、岡山北斎場の整備に伴う借入金の増加などにより、102億円増加しています。
- ◆国・県支出金は、幼児教育・保育の無償化に伴う国庫支出金の増加などにより、16億円増加しています。

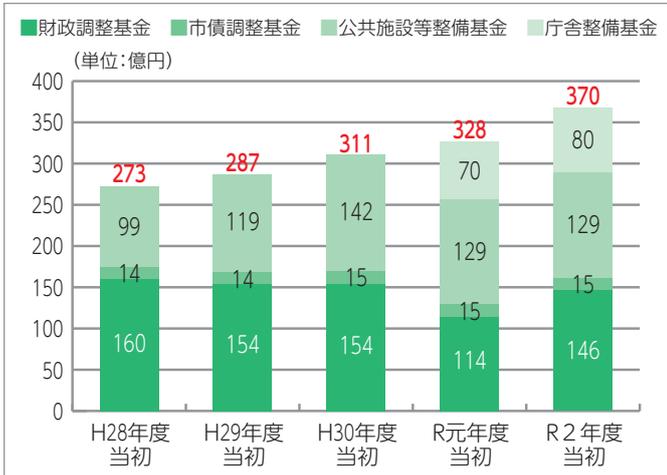
歳出(性質別)



- ◆扶助費は、子どものための教育・保育給付費、小・中学校就学援助費の増加などにより、対前年度比で14億円増加しています。
- ◆人件費は、会計年度任用職員制度への移行に伴う増加などにより、22億円増加しています。
- ◆普通建設事業費は、岡山芸術創造劇場（仮称）、岡山北斎場の整備費の増加などにより、107億円増加しています。
- ◆補助費等は、プレミアム付商品券に係る実行委員会負担金の皆減などにより、15億円減少しています。

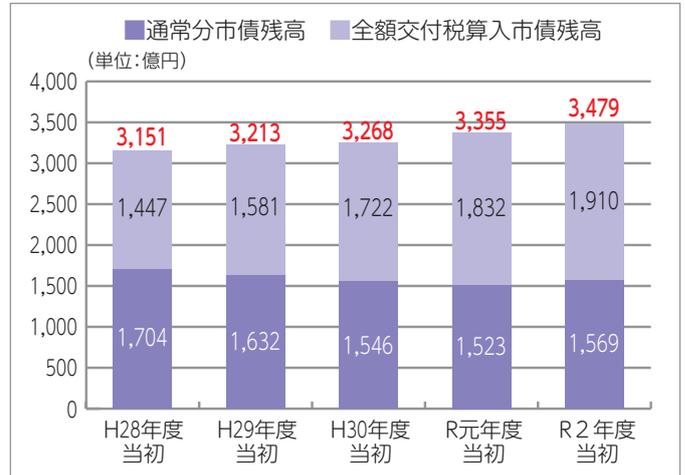
■基金残高の推移

歳入・歳出の均衡を図る財源調整のため、昨年度当初予算編成時と同様に、財政調整基金と公共施設等整備基金を合わせて70億円取り崩すことを予定していますが、令和2年度当初予算編成後で財源調整のための3基金と庁舎整備基金を合わせた基金残高は370億円となっており、前年度に比べ42億円増加する見込みです。



■一般会計市債残高の推移

後年度に全額交付税算入される臨時財政対策債などを除いた市債残高は、令和2年度当初予算編成後で1,569億円となっており、前年度に比べ46億円増加する見込みです。これは岡山芸術創造劇場（仮称）、岡山北斎場の整備など、喫緊の課題への対応を進めるためですが、合併推進債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することで、将来の財政負担を抑制しています。



■令和2年度当初予算の特徴（主要な事業）

「街を楽しむ」

- 県庁通り再整備 5億7,850万円
- 路面電車の岡山駅前広場乗り入れ、岡山駅前広場整備 5億5,930万円
- 路面電車のネットワーク化 3,000万円
- 地域公共交通再編等の推進 4,350万円
- 桃太郎線LRT化 6,300万円
- 緑（街路樹、公園樹木等）のボリュームアップ 5,100万円
- 市街地再開発事業 18億4,863万円
- 岡山芸術創造劇場（仮称）の整備 73億939万円
- 岡山城の魅力アップ 2億2,461万円

「子育て・教育」

- 民間保育士の処遇改善 3億2,000万円
- 奨学金の給付（高校生） 1億3,165万円
- 就学援助費等支給 8億4,900万円
- 児童虐待防止の推進 1,103万円
- 無償化対象外施設利用児への助成 3,200万円
- 市立放課後児童クラブの運営 6億5,000万円
- 市立幼稚園（6園）における3歳児教育の実施 4,292万円
- 英語教育の推進 1億8,000万円
- 山南義務教育学校（仮称）整備 9億2,666万円
- 南部適応指導教室整備 1億700万円

「Positive Health Okayama」

- フレイル対策事業（高齢者の虚弱介護予防） 1,050万円
- SIBを活用した健康ポイント事業 8,825万円
- AIを活用した健康見える化事業 1,691万円
- 在宅介護総合特区推進事業 8,360万円
- 地域共生社会の推進 6,378万円
- 生活支援サービス体制整備 9,660万円
- 在宅医療介護連携推進事業 4,910万円
- 救急現場における12誘導心電図の活用による早期治療 1,169万円

「災害に強いまちづくり」

- 自主防災組織の結成促進・活動支援 1億5,374万円
- ハザードマップの更新 3,785万円
- 緊急告知FMラジオの一般販売 374万円
- 笹ヶ瀬川西部地区のポンプ場整備 3億2,820万円
- 河川の排水機場への浸水状況確認用監視カメラの設置 3,929万円

「産業・地域の振興」

- 「おかやま・スタートアップ支援拠点」支援事業 1,500万円
- IoT・AI等先端技術導入支援事業 1,600万円
- 事業承継支援事業 2,300万円
- 企業立地推進事業 4億8,700万円
- 地域の未来づくり推進事業 2億1,810万円
- 農作物被害対策事業 8,800万円

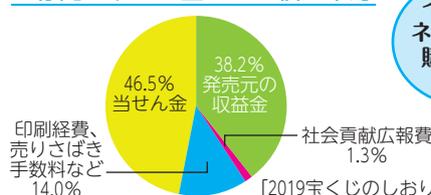
「SDGsの推進」

- SDGs未来都市推進事業 608万円
- 岡山ESDプロジェクト推進事業 2,900万円
- 家庭ごみ有料指定袋へのバイオマスプラスチック導入 1億1,814万円

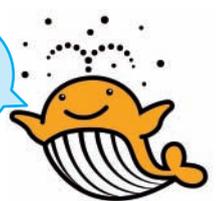
宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

岡山県内で発売された宝くじの収益金の一部は、岡山市の収入になります。収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や豪雨災害からの復興、子育て支援など、市民の皆さんの暮らしに役立てられています。

ご存知ですか？宝くじ1枚の中身



インターネットでも購入できるよ！



「2019宝くじのしおり」より

クーちゃん